

戦略3 人口希薄化地域における地域創生を目指した実践型教育研究の新展開 合同報告会@WEB

本学のビジョンである「地域に根ざし、国際的に飛躍する大学」を実現する戦略の一つとして、第3期（平成28年度～令和3年度）において「人口希薄化地域における地域創生を目指した実践型教育研究の新展開」（戦略3）を実施してまいりました。

その成果を広く知っていただき、地域への貢献やさらなる研究・教育の発展につなげていくため、このたび、報告会を開催いたします。

新型コロナウイルス感染防止対策として、また、移動の手間や時間的制約を減ずることとしてオンラインで実施いたしますので、ぜひ、ご聴講ください。

開催日 令和2年12月 15(火)・17日(木)・18日(金)

時間 14:45～18:00 (4・5限)

報告プロジェクト

戦略3の中核

重点PJ

重点支援プロジェクト

全28件

共に深める・共に活かす

CBR

地域参加型研究プロジェクト

全19件

協働し・実践的に学ぶ

PBL

地域実践型教育活動
地域連携授業

全12件

発信する・学びつづける

EX

地域実践型教育活動
エクステンション&アウトリーチ

全19件

地域課題に取り組む戦略3の中核をなすプロジェクトとして、28件が指定されています。第3期期間の6年間にわたり、地域の当事者や学生が関わった地域参加型の研究・教育への発展をめざして、さまざまな研究・教育・エクステンションの活動が進行しています。今回は、28件全てをご紹介します。

地域価値創造研究教育推進プログラム（通称：公募プログラム）

山陰の地域課題を対象とし、地域価値の創造により地域創生への貢献をめざす、協働的・実践的な研究と教育、および成果の発信や社会教育を実施するプロジェクトを毎年公募・採択しています。今回は、令和元年度に実施した全50件について報告します。

お申込みはこちらから

ZOOMの配信ご案内のため
事前申し込みをお願いします



<https://forms.gle/SdfbbFcNcWrAdtZX7>

開催期間中のお申し込みも順次受付ますが、配信のご案内にお時間をいただく場合がございますので、前日までの申し込みを推奨します。

お問い合わせ

鳥取大学地域価値創造研究教育機構

TEL : 0857-31-6777 Mail : koken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

発表スケジュール

1プロジェクト、代表者プレゼン5分+関係者コメントと質疑応答2分
 出入り自由ですので、どのプロジェクトからでもご視聴いただけます。
 進行の状況により時間が前後する場合がございます。あらかじめご了承ください。

15日
Tue.

| | 開始時間 | 区分 | 発表者 | プロジェクト名 |
|----|-------|----------|-------------|---|
| | 14:45 | | 機構長ごあいさつ | |
| | 14:50 | | 戦略3の説明 | |
| 1 | 14:55 | CBR (発展) | 児玉 基一郎 | 未発掘地域資源であるローカル酵母の活用による地域産業創造・地域活性化プロジェクト |
| 2 | 15:02 | CBR (実践) | 角南 なおみ | 発達障害傾向のある子どもに対する学校生活全般における学級集団を考慮した教師の関わりの検討 |
| 3 | 15:09 | CBR (実践) | 深田 美香 | 鳥取県西部白ねぎ農業従事者の腰痛予防および改善方法の検討 |
| 4 | 15:16 | CBR (実践) | 谷本 圭志 | コミュニティの主体的な関与による買い物支援ビジネスモデルの構築 |
| 5 | 15:23 | EX | 三浦 政司 | 小学生を対象とした「鳥大ものづくり教室」の開催 |
| 6 | 15:30 | EX | 御館 久里恵 | 国際理解教室「世界を知ろう」 |
| 7 | 15:37 | EX | 三谷 秀明 | 米子市および日南町と連携した科学実験教室の開講 |
| 8 | 15:44 | EX | 安藤 敬子 | 鳥取大学発「出前おもしろ実験室」プロジェクト ～理科好きな子どもたちを育てるために～ |
| 9 | 15:51 | EX | 山口 武視 | 第13回 FSCめぐりスクール |
| 10 | 15:58 | EX | 松村 一善 | 公開講座 農業経営スキルアップ講座-個別課題の解決に向けて- |
| 11 | 16:05 | EX | 松村 一善(能美 誠) | 公開講座 農業経営管理の基礎を学ぼう |
| 休憩 | | | | |
| 12 | 16:30 | PBL | 松村 一善 | 食マネジメントI・II, 食マネジメント演習 (ほか関連科目群) |
| 13 | 16:37 | PBL | 永松 大 | 里地里山演習I, II (ほか関連実習科目群) |
| 14 | 16:44 | PBL | 長曾我部 まどか | 地方創生政策体験学習 |
| 15 | 16:51 | PBL | 長曾我部 まどか | システム計画学特論 |
| 16 | 16:58 | PBL | 尾崎 米厚 | 医学科3年 研究室配属 |
| 17 | 17:05 | PBL | 尾崎 米厚 | 医学科4年 社会医学チュートリアル実習 |
| 18 | 17:12 | PBL | 三浦 政司 | 起業とプロトタイピング、ものづくり実践プロジェクト (社会システム土木系、電気電子情報系) |
| 19 | 17:19 | PBL | 三浦 政司 | 実践プロジェクトI、実践プロジェクトII、ものづくり実践プロジェクト (化学バイオ系) |
| 20 | 17:26 | 重点1-3 | 天野 宏紀 | 地域在住高齢者の認知症予防 (社会医学チュートリアル実習) |
| 21 | 17:33 | 重点1-3 | 紙本 美菜子 | 多職種連携教育プログラムの構築～くろさか春夏秋冬セミナー～ |
| 22 | 17:40 | PBL | 井上 和興 | 地域医療体験実習 |
| 23 | 17:47 | 重点1-1 | 藤井 正 | 田園回帰時代の中山間地域人材育成 |
| 24 | 17:54 | 重点1-1 | 筒井 宏樹 | 芸術文化の拠点形成 |

17日
Thu.

| | 開始時間 | 区分 | 発表者 | プロジェクト名 |
|----|-------|----------|-------------|---|
| | 14:45 | 戦略3の説明 | | |
| 1 | 14:50 | 重点2-2 | 野波 和好 | 農作業軽労化のためのロボット化 |
| 2 | 14:57 | 重点2-2 | 森本 英嗣 | 大規模経営を支えるスマート農業の実践 |
| 3 | 15:04 | 重点2-2 | 山本 定博 | 多筆大面積経営農家の圃場管理の合理化・省力化を支援する技術開発 |
| 4 | 15:11 | 重点2-2 | 近藤 謙介 | 竹粉の農業資材としての利用 |
| 5 | 15:18 | 重点1-2 | 福山 敬 | 人口希薄化する地方生活圏の集約拠点における生活サービス水準の実態把握と維持方策の提案 |
| 6 | 15:25 | 重点1-2 | 香川 敬生 | 鳥取県内の微動及び強震動の観測・解析と自治体・地域への結果の還元 |
| 7 | 15:32 | 重点1-2 | 太田 隆夫 | 地域住民を対象としたリカレント教育および地域資格制度の実施 |
| 8 | 15:39 | 重点1-2 | 桑野 将司 | 小規模ビッグデータを用いた地方都市の生活行動分析 |
| 9 | 15:46 | CBR (調査) | 桑野 将司 | 交通不便地域での共助的移動サービスの導入可能性の検討 |
| 10 | 15:53 | CBR (実践) | 斎藤 忠臣 | VR鳥取砂丘システムの開発と観光・教育・研究への利活用 |
| 11 | 16:00 | CBR (実践) | 三浦 政司 | AI・IoT時代の地域人材育成に向けた企業連携型社会教育の開発と試行 |
| 12 | 16:07 | CBR (実践) | 三浦 政司 | AIを用いたジビエ肉質判定システムの開発 |
| 休憩 | | | | |
| 13 | 16:30 | CBR (実践) | 成清 仁士 | 鳥取市東郷地区の過去・現在・未来を地図で探る「どんなまち」研究プロジェクト |
| 14 | 16:37 | CBR (実践) | 成清 仁士 | SHOTOKU-CHO 101デザインプロジェクト — とりぎん文化会館及び周辺エリアの賑わいづくりを考える実証研究 — |
| 15 | 16:44 | EX | 竹村 圭弘 | 公開講座・ナシ栽培生理講座 |
| 16 | 16:51 | EX | グラシエラ・クラビオト | ラテンアメリカを知ろう |
| 17 | 16:58 | 重点2-3 | 村田 周祐 | 森林に依拠した持続可能な多世代共創コミュニティに関する領域横断的研究 |
| 18 | 17:03 | PBL | 村田 周祐 | 基礎ゼミ |
| 29 | 17:08 | CBR (調査) | 上田 悦子 | 要配慮者が利用する鳥取県中部地域の給食施設における災害時の食の備えに関する調査研究 |
| 20 | 17:13 | CBR (実践) | 大元 鈴子 | 山間地域における地域資源価値の内部による「見出す型」と外部からの「創出型」事例の交流発展による「観光コリドー」の構築の検討 |
| 21 | 17:18 | 重点1-1 | 大元 鈴子 | 食・スポーツ・環境を軸とした地域資源産業の基盤づくり |
| 22 | 17:26 | 重点3 | 小林 勝年 | 附属学校・地域と連携した子供の発達支援と教師の成長プロセスに関する学際研究・実践プロジェクト |
| 23 | 17:33 | CBR (実践) | 白石 秀壽 | 小売マーケティングにおけるビッグデータの分析と活用 |
| 24 | 17:40 | 重点2-1 | 大城 隆 | フコイダンおよびその誘導体の生理活性検討 |
| 25 | 17:47 | 重点2-1 | 伊福 伸介 | キチンナノファイバーの応用開発 |
| 26 | 17:54 | 重点2-1 | 八木 寿梓 | 未利用雑海藻、魚廃棄部位の有効活用 |

18日
Fri.

| | 開始時間 | 区分 | 発表者 | プロジェクト名 |
|----|-------|----------|---------------|--|
| | 14:45 | 戦略3の説明 | | |
| 1 | 14:50 | 重点2-1 | 田村 純一 | 地域産物由来生理活性物質の探索と機能解明 |
| 2 | 14:57 | 重点2-1 | 有馬 二郎 | 微生物を使ったキッチン及びキッチン性廃棄物からの有用物質生産 |
| 3 | 15:04 | 重点2-4 | 有馬 二郎 | ギンザケ養殖における水質浄化 |
| 4 | 15:11 | 重点2-4 | 増田 貴則 | 循環型陸上養殖システムの高度化 |
| 5 | 15:18 | CBR (実践) | 増田 貴則 | マイクロナノバブル発生装置による生き魚のストレス低減効果の実証 |
| 6 | 15:25 | CBR (実践) | 堤 晴彩 | 智頭産スギをクラフトビール醸造樽材として活用した地域創生地産地消プロジェクト ー地域生態系内における調和性の観点からー |
| 7 | 15:32 | EX | 鈴木 慎一郎 | 自然環境を題材とした「こどものうたコンサート」の企画と実践 |
| 8 | 15:39 | EX | 山田 有里子 | 電子工作教室 |
| 9 | 15:46 | EX | 森川 修 | 理科大好き出張実験 |
| 10 | 15:53 | EX | 遠藤 直樹 | 第8回 鳥取大学菌類きのご観察講座～野外観察と顕微鏡実習～ |
| 11 | 16:00 | EX | 藤巻 晴行 | 乾燥地研究センター「一般公開」 |
| 12 | 16:07 | EX | 菅森 義晃 | 生命環境農学演習Ⅰ・Ⅱ |
| 休憩 | | | | |
| 13 | 16:30 | 重点1-3 | 鈴木 康江 | 子育て支援：地域で「切れ目のない支援」への社会システムの構築（米子市） |
| 14 | 16:37 | 重点1-3 | 徳嶋 靖子 | 地域高齢者に対する見守り支援に関する実態調査 ～人的資源による見守り支援～ |
| 15 | 16:44 | 重点1-3 | 徳嶋 靖子 | けんこう茶屋～地域交流をとおした健康発信拠点づくり～ |
| 16 | 16:51 | 重点1-3 | 佐藤 研吾 | まちの検査室 |
| 17 | 16:58 | EX | 浦上 克哉 | 認知症予防の啓発事業 -とっとり方式認知症予防プログラムの普及を目指して- |
| 18 | 17:05 | CBR (発展) | 萩野 浩 | 鳥取県民における転倒・骨折要因の検討と骨折予防教育プログラムの開発 |
| 19 | 17:12 | CBR (実践) | 井上 雅彦 | 知的障害児者支援施設における行動障害評価のためのアプリケーションの開発 |
| 20 | 17:19 | CBR (調査) | 竹川 俊夫 | 地域共生社会の実現に向けた住民主体の持続可能な地域づくりに関する調査研究 |
| 21 | 17:26 | 重点1-1 | 竹川 俊夫 | 人々の多様性がおりなす共生社会の実現 |
| 22 | 17:33 | 重点1-1 | 高橋 健司 | 歴史と文化の資源保護・活用と政策形成 |
| 23 | 17:40 | CBR (発展) | 筒井 一伸 | 多様な市民参加の場に資する対話のプロセスデザイン |
| 24 | 17:47 | EX | 柴田 梨央 (山根 俊喜) | 出張！地域をつなぐ吹奏楽の旅 |
| 25 | 17:54 | EX | 住川 英明 | まちなか文学講座 |
| 26 | 18:01 | EX | 西田 信一郎 | 鳥取大学天文ドーム一般公開 |
| 27 | 18:06 | EX | 菅原 一孔 | 電気・情報に関する体験講座の実施 (「アガミング体験教室 スマホアプリを作ろうの会」電気情報系学科の研究室公開) |
| | 18:13 | 機構長総括 | | |